



安曇野

市議会だより

第26号

発行 安曇野市議会
平成24年5月16日

市議会ホームページ

<http://www.city.azumino.nagano.jp/gikai/index.html>

議事録閲覧

http://www.gijiroku.jp/gikai/c_azumino/index.html



安曇野に映えるりんごの花



豊科南小学校卒業式

主な内容

contents

- ・市長施政方針 2
- ・平成24年度一般会計予算概要 3
- ・ピックアップ常任委員会 8
- ・3月定例会一般質問・市政のここが聞きたい 10
- ・市民の声・編集後記 20

人口と世帯 平成24年5月1日現在 () 内は対前月比

人口 99,311 人 (- 37) 男 48,207 (+ 26) 女 51,104 人 (- 63) 世帯 37,531 世帯 (+ 44)

平成24年度一般会計予算の概要

予算額…370億5,000万円

(前年度当初予算 355億2,000万円 対前年度 15億3,000万円増、4.3%増)

1. 健全財政維持のための財源確保と経費削減

1. 本庁舎建設工事外		総務部	20億4,327万5千円
2. 明科総合支所等施設改築工事		総務部	3億7,521万1千円
3. 三郷公民館等耐震診断・実施設計	新	総務部	1,832万9千円
4. 防犯灯新設工事（LED化）		総務部	1,000万円
5. コールセンター業務		総務部	429万7千円
6. 県地方税滞納整理機構負担金		総務部	854万8千円
7. 市営住宅解体工事		都市建設部	1,262万1千円

2. 安心・安全で住んでよかった住環境確保

1. 地下水保全対策	新	総務部	1,029万8千円
2. 児童発達支援事業	新	健康福祉部	839万7千円
3. 福祉医療費		健康福祉部	5億2,368万円
4. 公立保育園整備（北穂高・三郷南部）		健康福祉部	3億5,779万9千円
5. 太陽光発電・太陽熱利用システム設置補助	新	市民環境部	4,000万円
6. 住ま居る（スマイル）応援制度		商工観光部	6,000万円
7. デジタル同報系防災行政無線整備		総務部	4億5,056万円
8. 地域防災計画策定（原子力災害対応）		総務部	346万5千円
9. 中学校不足教室増築工事	新	教育委員会	1億646万4千円
10. 火葬料無料化事業		市民環境部	693万円

3. 産業の活性化と魅力あるまちづくり

1. 農産物販売拡大事業	新	農林部	600万円
2. 生産設備取得費補助事業	新	商工観光部	5,000万円
3. 新製品・新技術等開発事業	新	商工観光部	250万円
4. 空き工場、空き店舗活用促進事業	新	商工観光部	300万円
5. 市の制度資金貸付事業	新	商工観光部	8億7,712万円
6. 観光振興ビジョン策定		商工観光部	857万3千円
7. 産業支援コーディネーター事業		商工観光部	528万9千円
8. IC名称変更関係		都市建設部	2億800万円

4. 郷土の再認識と協働による市民の一体感を産み出す取組み

1. つながりひろがる地域づくり事業		総務部	500万円
2. 安曇野ブランド推進事業		商工観光部	300万円
3. 農地・水保管理支払交付金事業		農林部	1,760万円
4. 自主防災組織強化		総務部	400万円
5. 家庭教育支援基盤推進		教育委員会	179万3千円
6. 安曇野検定		教育委員会	181万2千円
7. 地区公民館建設事業		教育委員会	1,000万円
8. 郷土博物館管理運営事業	新	教育委員会	1,100万円
9. 郷土資料収蔵施設整備	新	教育委員会	3,407万1千円



安曇野市長
高橋 宗弘

平成24年安曇野市議会 3月定例会市長施政方針

未曾有の被害をもたらした東日本大震災・長野県北部地震、福島第一原発事故から、まもなく一年を迎えようとしています。被災地ではいまだ厳しい状況が続く中で、不便な生活を余儀なくされている皆様に心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興を願っております。また、多くの市民の皆様からの温かいご支援ご協力で心から感謝申し上げます。被災地への行政支援については、昨年職員派遣を行った宮城県多賀城市へ、引き続き、本年4月から、道路・公園復旧作業に当たするため、職員4名を交代で派遣することとしました。市民の皆様方のご支援を重ねてお願い申し上げます。

一般会計予算4つの重点施策について

- 第1、「健全財政維持のための財源確保と経費削減」
- 第2、「安全・安心で住んでよかった住環境確保」
- 第3、「産業の活性化と魅力あるまちづくり」
- 第4、「郷土の再認識と協働による市民の一体感を産み出す取組み」であります。

市政喫緊の課題

「新庁舎の建設」と「安曇野菜園株式会社」についてであります。「新本庁舎建設」については基本設計がまとまり、質実剛健で、市民に喜ばれ、次世代に引き継がれる市庁舎としての基本理念を堅持し、利用しやすい庁舎設計となりました。「安曇野菜園株式会社」については、経営破たんにより混乱と市民

の不信を招いた問題の調査を行い、再発防止のための提言を行う第三者委員会を設置いたしました。

第1次総合計画後期計画策定に着手

「北アルプスに育まれ ころろ輝く 田園都市 安曇野」を目指し、まちづくりを進めています。当市においても、少子高齢化、人口減少社会の到来は現実の問題となっており、人口フレームの見直しも視野に入れながら、市民の皆様の見解を十分にとらえ、実効性ある施策を展開し取り組んでまいります。

「安曇野市観光振興ビジョン」の策定に着手

将来的な観光振興の基本方針となる「観光振興ビジョン」策定作業に着手しました。観光協会が4月から法人となり、新たな事業

展開を行い、安曇野の観光の成熟度を高めていく活動となるよう積極的な支援をおこなってまいります。

「安曇野インター」名称変更について

名称変更の決定機関「日本高速道路保有・償還返済機構」から1月26日に名称変更決定通知をいただきました。

「安曇野インター」への名称変更は高速道路利用者に安曇野市が容易に分かって頂けること、また、産業、観光振興のほか安曇野市民の一体感の醸成に大きく寄与するものと思っております。

その他、安曇野検定の実施、スポーツ振興、「つながりひろがる地域づくり事業補助金」など、議案は全部で46件、慎重審議頂きご承認賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

審議概要

- 賛成少数で否決**
- 反対討論**
- ① 本体の63億円を全然変更する想定がなくて、債務負担行為だけ減額修正するのは平成24年度事業の実施設計その他の委託業務との関連で全体的に整合性がない。
 - ② 健康支援センターの188名には保育士・保健師等の人数も含まれており算出根拠に納得できない。
 - ③ 議会は特別委員会で本庁機能を一つに集約することを決め市長に提言している。また堀金地域の市民の声を大切にしたい。

- 賛成討論**
- ① 基本計画による20億4327万5千円の建設事業費と債務負担行為の43億9千万円が計上されているが、建設の具体化、本設計がされていない基本計画で予算を確保しようとしている。
 - ② 堀金庁舎と保健センターを活用し、約22億円の建設費の削減をすべきである。
 - ③ 現在庁舎の機能が分散しているが、市民の中に定着しつつあるものを合わせ、一極集中でなくてもできるものはあるのではないか。

一般会計について

質疑

地下水保全条例について

Q 地下水保全条例および涵養と保全の内容は。
A 条例は24年度中に制定したい。地下水保全対策研究委員会の中で検討していく。2つの作業部会を発足させ、一つは涵養量の増強や取水ルールを検討し、もう一つは涵養のため費用支援の仕組みを考える。



水田を利用する地下水涵養

報償費について

Q 平和のつどいと広島修学旅行費の内容は。
A 平和のつどいのときの記念講演講師の謝礼である。旅費は修学旅行ではなく、8月6日の広島戦没者追悼式へ市内の中学生代表20名程が参加する費用である。

生活保護状況と予算について

Q 生活保護の状況と新年度予算の方針は。
A 平成20年のリーマンショック以降、雇用情勢の悪化に伴い、被保護人員、被保護世帯が急激に増加したが、平成23年度からは増加傾向ではあるが伸び率は鈍化しており、平成24年度は増加しても微増ではないか。生活保護の申請権を妨げることのないように心がけ、制度から漏れることのないように適正な運用に努めていく。

臭気問題について

Q 湯浅産業の臭気問題解決のための環境調査の内容は。
A 24年度は悪臭12物質の調査が年4回および臭気測定が年4回である。土地の空け渡し調停とも関連し、非常に重要な案件であるから予算を有効に使わせていただく。

Q 三郷地区の乳酸菌による悪臭対策についてどのようなものか。
A 三郷堆肥センターに発生プラントを設置し、1日2〜3トンを製造し、豚舎内にかかりの量を散布する。

Q 24年度のモデル事業だが、検証し、25年度以降本設置に移行したい。
A 24年度のモデル事業だが、検証し、25年度以降本設置に移行したい。



食材の放射線測定

給食用食材の放射線測定について

Q 学校給食および保育園給食用の食材の放射線測定方針、方法はどうなるのか。
A 保育園は4月から市民環境部で管理している機械を1台借り、18園を回しながら1日1園検査する。学校給食は昨年11月から測定を実施し、2月からホームページでも公開している。県の制度のものを活用し、食材の安全性を確認し、さらに効率的な方法を検討していきたい。

討論

①修正案について

新庁舎建設本体工事の債務負担行為（平成25年〜26年度）43億9000万円を21億3280万円に減額するといふもの。

②原案について

賛成多数で可決

反対討論

- ① 全体の連結決算では市債残高を減らしており評価はできる。しかし、一般会計では増えており、新たに54億円の借金で収支を合わせることに賛成できない。
- ② 財政面で公債費比率等みた場合、赤字の借金はたくさんあるにしても、いろいろな点ではまだ、健全性を維持している。しかし、本予算には税収の落ち込み、減収に対する政策面での配慮がないので反対である。
- ③ 事業の年度別、科目別の予算配分など細部が市民に提示されていない。

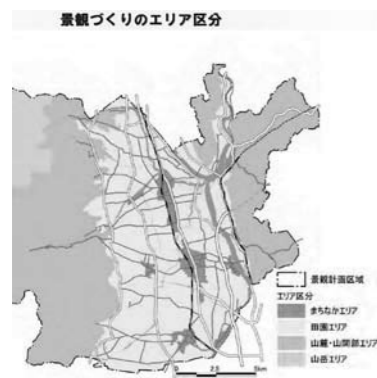
賛成討論

- ① 市民の暮らしを守り、将来を見据えたまちづくりのため、健全財政維持、安全・安心、産業活性化、協働による市民一体感を打ち出そうとする姿勢を評価する。
- ② 地方債は、市の借金ではあるが、資金調達の一つの手段であり、将来の市民にも費用の一部を負担していただき、世代間の負担の公平化を図られる合理性を感じる。
- ③ 市は実施計画、財政計画等で検証しており、24年度の事業が将来の健全財政堅持を妨げるものではない。よって原案に賛成する。

主な条例の審議

議案第10号 安曇野市屋外広告物条例
 安曇野市景観計画の目的達成のため、屋外広告物に関する市独自の規制や基準を制定するもの。安曇野市屋外広告物条例の制定に伴い、安曇野市景観条例の一部を改正するもの。

可決



賛成討論
 市として地区への説明会を何回も行い、区長会から「民間委託形式であっても小倉唯一の医療機関として存続してほしい」と要望が出され、その要望に従って24年度から民間にお願いをし、週3日間、診療をして頂くという道が開かれた。この病院はなじみのある病院で、今まで以上に充実した診療が期待されており条例を廃止することには賛成である。

反対討論

長年にわたり、地域住民の命と健康を守るためとして貢献してきた。診療所の利用者は五十数名いる。民間であるがゆえに、利益が上がるなければ撤退してしまう可能性がある。市の財政負担が大きいう理由で今回の条例廃止には反対である。

議案第7号 安曇野市三郷小倉診療所条例を廃止する条例
賛成討論
 介護保険制度は、日本が世界に自慢できる制度だと思ふ。国の制度に則って自治体が運営していくことの限界があり、保険料の値上げに当たっては、所得段階区分を8から12段階に細分化して、低所得者層への負担を抑える努力をされており保険料の値上げはやむを得ないと考えるので賛成である。

反対討論

県の財政安定化基金、市の準備基金を取り崩し保険財源に充てたこと、段階区分の細分化など努力はしているが、年金の範囲内で暮らす高齢者にとって保険料の値上げは大変苦しいものがある。介護給付費がふえる分を、高齢者の保険料負担に転嫁する値上げには反対である。

議案第5号 安曇野市介護保険条例の一部を改正する条例
可決

平成23年度 一般会計補正予算(第4号)の概要

補正予算額5億1,900万円を減額し、補正後の予算額370億5,800万円とした。

歳入について

主な内容として個人市民税現年課税分2,300万円の増額、法人市民税現年度分1億200万円の増額、特別交付税4億円の増額、子ども手当国庫負担金2億8,691万4千円の減額、生活保護費国庫負担金課年度分4,664万6千円の増額、安曇野菜園株式会社出資金返還金2,200万円、旧合併特例事業債3億220万円の減額など可決した。

歳出について

本庁舎建設事業確定による1億7,607万5千円の減額、本庁舎等建設事業基金積立金1億円の増額、特別職・一般職・期末・勤勉手当等6,750万1千円の減額、明科総合支所等施設改築事業6,925万9千円の減額、公共施設整備基金積立金2億3,400万円の増額、子ども手当の給付見込みによる2億7,200万円の減額補正など可決した。

平成24年安曇野市議会3月定例会審議結果

市長提出議案等

番号	件名	結果
報告第1号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について(道路事故に関する事)	受理
報告第2号	地方自治法第180条の規定による専決処分の報告について(自動車事故に関する事)	受理
議案第1号	安曇野市特別職の職員等の給与等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第2号	安曇野市税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第3号	安曇野市暴力団排除条例	原案可決
議案第4号	安曇野市墓地等の経営の許可等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第5号	安曇野市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第6号	安曇野市児童クラブ利用者負担金条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第7号	安曇野市三郷小倉診療所条例を廃止する条例	原案可決
議案第8号	安曇野市営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	安曇野市商工業振興条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	安曇野市屋外広告物条例	原案可決
議案第11号	安曇野市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	安曇野市公民館条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	安曇野市図書館条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	安曇野市博物館条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第15号	平成23年度安曇野市一般会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第16号	平成23年度安曇野市同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第17号	平成23年度安曇野市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第18号	平成23年度安曇野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第19号	平成23年度安曇野市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第20号	平成23年度安曇野市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第21号	平成23年度安曇野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第22号	平成23年度安曇野市産業団地造成事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第23号	平成23年度安曇野市水道事業会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第24号	平成24年度安曇野市一般会計予算	原案可決
議案第25号	平成24年度安曇野市同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
議案第26号	平成24年度安曇野市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第27号	平成24年度安曇野市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第28号	平成24年度安曇野市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第29号	平成24年度安曇野市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第30号	平成24年度安曇野市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決

議案第31号	平成24年度安曇野市上川手山林財産区特別会計予算	原案可決
議案第32号	平成24年度安曇野市北の沢山林財産区特別会計予算	原案可決
議案第33号	平成24年度安曇野市有明山林財産区特別会計予算	原案可決
議案第34号	平成24年度安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計予算	原案可決
議案第35号	平成24年度安曇野市穂高山林財産区特別会計予算	原案可決
議案第36号	平成24年度安曇野市産業団地造成事業特別会計予算	原案可決
議案第37号	平成24年度安曇野市水道事業会計予算	原案可決
議案第38号	平成24年度安曇野市営舎事業会計予算	原案可決
議案第39号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市三郷堆肥センター)	原案可決
議案第40号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野蝶ヶ岳温泉ほりてーゆ〜四季の郷地)	原案可決
議案第41号	公の施設の指定管理者の指定について(ビレッジ安曇野他)	原案可決
議案第42号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市三郷農林漁業体験実習館、安曇野市三郷室山研修施設)	原案可決
議案第43号	公の施設の指定管理者の指定について(安曇野市堀金農村コミュニティマレットゴルフ施設)	原案可決
議案第44号	市道の廃止について	原案可決
議案第45号	市道の認定について	原案可決
議案第46号	土地の取得について	原案可決

修正案

件名	結果
「議案第24号 平成24年度安曇野市一般会計予算」に対する修正案	否決

請願

番号	件名	結果
平成23年請願第10号	「改定」介護保険の改善を求める請願書	審査未了
請願第1号	国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める請願書	不採択
請願第2号	県に対し、住宅リフォーム助成制度創設の意見書を提出することを求める請願書	継続審査
請願第3号	競技スポーツ選手及び地域青少年育成の為に豊科南中学校グラウンド夜間照明塔設置を求める請願書	継続審査
請願第4号	介護保険料の値上げをしないよう求める請願書	不採択
請願第5号	松本山雅FCへのホームタウン加盟に関する請願書	採択

議員提出議案

番号	件名	結果
議員提出第1号	議員派遣について	原案可決

選挙

件名	執行日
長野県地方税滞納整理機構議会議員選挙	H24.3.19

福祉教育委員会

議案第 24 号	平成 24 年度 安曇野市一般会計予算 (賛成多数で可決)
審査内容	(意見) ・安曇野検定について、事業主体は社会教育課になっているが、講座の開催等実務は中央公民館、地域公民館になっている。公民館活動を地域に根づいた積極的なものにするための方法を考えるべきである。
議案第 28 号	平成 24 年度 安曇野市介護保険特別会計予算 (賛成多数で可決)
審査内容	(原案に反対の意見) ・特養の待機者もなかなか減らない。高齢者の負担の上に組まれた予算には反対である。
請願第 3 号	競技スポーツ選手及び地域青少年育成の為に豊科南中学校グラウンド夜間照明塔設置を求める請願書 (継続)
審査内容	(継続の意見) ・近隣のこども病院、農家の影響が懸念される。継続審査すべきものと賛成多数で決定。
請願第 4 号	介護保険料の値上げをしないよう求める請願書 (賛成少数で不採択)
審査内容	(反対意見) ・願意は分かるが、財政面を考えたとき、値上げをせざるを得ない。 (賛成意見) ・一般会計からの更なる繰り入れをして、値上げをすべきではない。
請願第 5 号	松本山雅 FC へのホームタウン加盟に関する請願書 (採択)
平成23年請願第10号	「改定」介護保険の改善を求める (可否同数、委員長判断のもと審査未了)
審査内容	(反対意見) ・実際現場に携わっている人たちの声なので、請願の内容を十分汲み上げていくべきである。 (賛成意見) ・国の動向を見ながら継続、勉強会をしてきた。現段階では結論出せない。

環境経済委員会

議案第 3 号	安曇野市暴力団排除条例 (全員賛成で可決)
審査内容	(意見) ・この条例の目的や基本理念等を広く市民に知らせ、安全で平穏な市民生活環境をつくる必要がある。
議案第 24 号	平成 24 年度 安曇野市一般会計予算 (全員賛成で可決)
審査内容	(意見・要望) ・若い就農者で、農業育成支援を受けている人と、受けないで自力で行っている人がいる。安曇野市の農業を、支えてくれることを期待しているが、今後一番必要なことは何か、市内外に向けて就農情報として発信してほしい。 ・畜産臭気対策に向けて、更に取り組んでほしい。 ・三郷一般廃棄物最終処分場について、契約期間延長及び市全域からの受け入れの主要な条件が、畜産臭気問題となっているが、地下水汚染に関する問題も大切である。
議案第 39 号	公の施設の指定管理者の指定について (安曇野市三郷堆肥センター) (全員賛成で可決)
議案第 40 号	公の施設の指定管理者の指定について (安曇野蝶ヶ岳温泉ほりで一ゆ～四季の郷他) (全員賛成で可決)
議案第 41 号	公の施設の指定管理者の指定について (ビレッジ安曇野他) (全員賛成で可決)
議案第 42 号	公の施設の指定管理者の指定について (安曇野市三郷農林漁業体験実習館、安曇野市室山研修施設) (全員賛成で可決)
議案第 43 号	公の施設の指定管理者の指定について (安曇野市堀金農村コミュニティマレットゴルフ施設) (全員賛成で可決)
請願第 2 号	県に対し、住宅リフォーム助成制度創設の意見書を提出することを求める請願書 (継続審査)
審査内容	(審査を継続したいとする意見) ・長野県においては、既に信州型住宅リフォーム促進事業が計画されており、県の事業の進展状況を見ることとして、継続審査としたい。

総務委員会

議案第 1 号	安曇野市特別職の職員等の給与等に関する条例の一部を改正する条例 (全員賛成で可決)
議案第 2 号	安曇野市税条例の一部を改正する条例 (全員賛成で可決)
議案第 15 号	平成 23 年度 安曇野市一般会計補正予算 (第 4 号) (全員賛成で可決)
議案第 24 号	平成 24 年度 安曇野市一般会計予算 (賛成多数で可決)
審査内容	(原案に反対の意見) ・全体を見ても 907億円の借金がこの予算に計上されている。更に、地方債を発行して借金をしていく、こういう財政の在り方には賛成できない。 (原案に賛成の意見) ・長期的な事業計画に基づいて予算執行していると解釈している。その他、全体的に異議はないのでこの予算には賛成である。 ・合併特例債を含めた中での起債で、的確な予算計上なので賛成である。
請願第 1 号	国に対し、消費税増税反対の意見書を提出することを求める請願書 (賛成少数で不採択)
審査内容	(採択に反対の意見) ・少しでも借金を解消しなければ、国の借金は子供たちに全部押し付けてしまう。これは国家としてはまずい。こういった中で、社会福祉に対する消費税増税は決まったわけではないが、賛成なのでこの請願には反対である。 ・次世代に借金を残さず今の世代で解消していくことになれば、ある程度の増税は仕方ない。従って、請願には反対である。 (採択に賛成の意見) ・全ての国民が消費税の在り方に反対し、暮らしを守る、税制の在り方を変えていく、財政支出の在り方を変えていくそういうことを考えて、請願の趣旨に賛成であり、消費税の引き上げには反対である。 ・消費税は上げるべきではない。消費税は税率がアップになった分、税収は増える。全体としては、所得税・法人税が下がり政府の税収は減る。政府の税収は GDP に対して何パーセントということである。経済のデフレ脱却に政策として誘導し、政府の税収を上げる形をとるべきである。

建設水道委員会

議案第 24 号	平成 24 年度 安曇野市一般会計予算 (全員賛成で可決)
審査内容	(要望) ・遊具の更新で工事を施工する際には、周辺住民へ工事期間・工事内容などをあらかじめ知らせるようにしてほしい。
議案第 29 号	平成 24 年度 安曇野市下水道事業特別会計予算 (全員賛成で可決)
審査内容	(要望) ・接続率をさらに高めるためにも下水道未接続の高齢者に対する効果的な制度などを検討してほしい。
議案第 45 号	市道の認定について (全員賛成で可決)
審査内容	(要望) ・市道として供用開始する前に、高さ制限の標識が必要か否かなど、調査を綿密に行うようにしてほしい。





市民税収の減、滞納者の増、借金は増すばかり

日本共産党安曇野市議員 松澤好哲

問 4年制大学を誘致し、学んだ学生が安曇野市の企業に就職できるシステムと方針を、頭脳の地産地消をするよう提案する。

「あるものを壊して建て最大限利用する考えは。市長 工業系大学誘致は業界から話があるが、財政援助や魅力ある大学等ハードルが高い。慎重に検討していく。

古くなった建物にスクラップ&ビルドの考えは変わらない。

24年度の予算編成について

問 24年度の予算は連結決算で907億円で借金、年平均約10億円減らしても90年かかる。10億円返して54億円の借りが現市政のあり方である。今予算の市民税収は5%減の5億5千万円。合併特例債という借金は

100億を越え、後年度の負担が増すばかりである。4年後は段階補正で22億円の交付税が減る時、借りまくるとはどういうことか。市民税収は減るばかり、滞納は増えるばかり、借金は増すばかりで、財政はどうするのか。

厳しい中、市民の心をひと時でも考えたことがあるのか。

市長 借金、借金というが、制度資金や後年度負担のからない合併特例債を使わないことには考えられない。市民の共有財産であり、残りすべての市民が使うものに市庁舎がある。税金で自治体は賄っている。税金の支払いは義務である。本当に困る方は生活保護で対処している。権利の主張でなく義務の履行があり、支払っていただく。

新庁舎建設は対案で削減を

問 24年度予算を見て、

国保会計は97億円、介護会計は74億円、民生費だけでも予算の29%を越え、市民税収とほぼ同じ108億円になっている。

この市民の暮らしも、安曇野市の台所も苦しい中、79億8千万円の新庁舎を建てるのではなく、議会棟・保健センターを利用すれば約30億円減額できるという対案は12月議会でも提案した。

市長 庁舎は今やらないければ後年度の悔いを残す。チャンスはしっかりとらえていく。

図書館の利用について

問 信大、松本中央図書館との連携、同一カードによる広域での利用拡大を。

教育次長 広域連合で連携している。図書館同志のやりとりとソフトは研究していく。



介護予防・健康で長生きの施策と支援について

無所属連合 相田登美枝

問 松本市では「健康長寿延伸都市」を掲げている。今や高齢で長生きの時代、安曇野市として、市長の熱い思いと展望について伺う。

市長 いつまでも健康で明るく生き生きと暮らすことができるまちづくりをめざしたい。高齢化の進展は加速度を増している。高齢者が住み慣れた地域で健康保持をしながら、安心して生活できる諸施策を推進する。

問 10年余続いていた介護予防・生きがいデイサービス事業が3月いっばいで終了する。継続してほしい、なくさないでの切なる声への対応について。

健康福祉部長 この事業は、当初国の補助事業でやってきた。平成18年の介護保険制度の改正により、地域支援事業が創設され、補助金が廃止となった。その後、市は高齢

者が健康で生き生きと過ごしていくために、一般財源により継続、実施してきた。この財源をもっと違った方向で使えないか、徐々に新規の利用者を縮小。現利用者には個別に訪問、理解を求め、介護保険サービスの利用、介護予防教室等へのお誘いしている。

【提案】 時代に逆行である。「生きがいデイサービス事業」が今日まで愛され続けられてきたことは素晴らしいことである。これからの高齢社会の指標である。再度、新たな施策が求められる。生きがいのある事業として、更なる充実と継続を提案する。

安曇野市農業・農村振興計画案について

問 熱く納得のいく計画案だ。農業従事者は厚い資料より、用紙1枚でいいから、具体的な指示、

指導を求めている。**農林部長** 現在、見開きのダイジェスト版にして、より分かりやすく取り組んでいる。

問 田園都市安曇野の主力はお米。安曇野産コシヒカリは魚沼産の2分の1と安価だ。もっと、自信と誇りを持って、高値でも売れるブランドとして、アピールを。

農林部長 安曇野は米の産地として有望、一等米比率も極めて高い状況。安曇野ならではの地域イメージをもって、展開していきたい。魚沼産に負けない新しい品種を研究、多方面にわたって進め、販売促進、農家の所得向上につなげていきたい。



生きがいデイサービスセンター(団らんの時)



安曇野市小中学生作詞作曲コンクールについて

しん風・常念会 内川集雄

問 昭和57年から開催され、30年を超える、全国に誇れる安曇野市の小中学生作詞作曲コンクールが郷土の詩人、童謡「めえめえ児山羊」などを作詞した藤森秀夫を偲ぶ童謡祭りに同時開催されている。日本で唯一安曇野市だけだ。この誇れる安曇野市小中学生における作詞作曲コンクール、このすばらしさを全国に発信していただきたい。

教育次長 実行委員会が主催している。自然豊かな安曇野に育つ子どもたちの詩心や音楽の感性を引き出す作詞作曲コンクールを実施、子どもたちに良い歌良い音楽を願う企画されている。小中学生の豊かな感性を養うのに成果を上げている。現段階、全国にという構想はもっていないが安曇野市にしっかりと根付かせていく。再来年は童謡祭り50周年となり

(平成24年49回) 作詞作曲コンクールは、例年と違った趣向を凝らす考えがある。必要な援助をしていきたい。

【要望】 節目に向かつて、市としてバックアップをしていただきたい。**問** 全国に誇れる小中学生作詞作曲コンクール、童謡祭りを姉妹都市交流に活用する考えを伺う。

教育次長 都市交流のなかで、コーラスなどで歓迎があるが、関係者の調整が必要。文化振興計画では、友好都市との文化交流の促進を具体的な取り組みに挙げている。今後盛んになるよう関係者と調整を図り考える。

【要望】 多くの受賞者が音楽関係で活躍している。小中学生作詞作曲コンクールに、もっと目のあててほしい。**「安曇野市平和都市宣言について」**



コンクールでの受賞者(小学生兄弟)

問 宮澤市長の声で早期に安曇野市平和都市宣言をしないか。

市長 平和都市宣言制定については、安曇野市民からの請願は議会で採択されている。安曇野市として早期に宣言をしたいという考えは変わらない。**要望** 小中学生、高校生125件の声の重さを感じる。6月議会に上程していただきたい。本年の平和の集い・戦没者追悼式は、平和都市宣言をした安曇野市としての主催を強く望み、安曇野市の議場に国旗掲揚を望む。

【その他の質問事項】
○一般廃棄物最終処分場について



元気な高齢社会を迎えるために

新進クラブ 平林徳子

問 少子高齢化といわれて久しいがその状況は改善せず、市においての高齢化率は1月末現在25.68%、高い地域は32.36%である。お考えは。

市長 生きがいのある健康長寿の地域社会を構築し、高齢者が安心して健康やかに暮らせるよう、地域福祉計画に基づき様々な施策を着実に実行したい。

問 高齢化の進展と対応については。**健康福祉部長** 地域福祉計画の確実な実行である。行政、公民館、社協支部、農協、NPO、施設、区などが連携し合い、地域で支えあう地域包括ケアのなかで進めることができるかと考える。

問 元気な高齢者の支援について聞く。**健康福祉部長** 健康づくり事業や、介護予防事業にシフトしていく。社協のいきいきサロンについては、現在73地区で行っ

ているが、未実施地区もあり、月1回の定期的な開催に向け支援したい。そのため24年度は30万円増の42万円の予算とした。このように介護予防事業と連携して、各種事業の充実をしたい。

問 足こぎ車椅子によって、寝たきりの方が歩けるようになった例もある。導入を考えないか。**健康福祉部長** 足こぎ車椅子は、足の長さや座った位置、幅などサイズの問題があり、市が購入しての貸与は難しい。必要とする障がい者の方には、特例補装具の対象になる。介護保険における福祉用具としても、この提案をもとに扱ってほしい。

男女共同参画計画は

問 この計画は平成20年3月に策定された。4年間の計画推進の経過と、昨年行った市民意識調査により見えてきた課題は。

総務部長 男女がお互いを尊重し健康やかに暮らせる社会づくり等、4つの基本目標を掲げて施策を展開してきた。意識調査によると、男女の平等感について平等と感じている人が24%と依然として低く、社会通念、慣行、しきたり、職場家庭において改善がみられない状況にある。意識を変えるために、更に啓発活動を実施したい。

問 次期計画策定にむけて24年度の取組みは。**総務部長** 7月をめどに検証、情報収集、課題の整理を行い11月中旬には素案を作成し、パブリックコメントの後、平成25年3月に公表したい。

問 改正育児介護休業法の7月全面施行について。**商工観光部長** 広報紙、パンフレット等による周知。国の企業向け助成制度等もあり知らしめたい。

東日本大震災に学ぶ安曇野市の災害対応は



しん風会 召田 義人

問 災害に強いまちづくりにどのような対策をしているのか伺う。

市長 新庁舎のなかに防災関係の機能を入れて、市民の皆さんの生命・財産を守っていききたい。災害は自治体だけでは防げない面がある。自己防衛的な備えも必要でありまた、地域の自主防災組織の強化、消防団員の確保等で、共に地域を守っていききたい。

問 消防団員の安全対策と身分保障について伺う。

総務部長 この4月より安曇野市消防団マニユアルを作成した。これには消防団の役割から始まり10項目について作成している。安全対策については住民と団員の両方の命を守るためには明確なルールが必要であり、毎年実施している教育訓練のなかで、安全管理の講義を受けており、マニユアルを教本に、更なる安全

対策教育を行う予定である。また身分保障については、今年度より市長名で勤務先に消防団員出勤への理解と協力要請を行う計画である。

問 防災設備の再点検と備品・機械の充実についての考えは。

総務部長 市で整備してある地理情報システムのなかに防火水槽・消火栓の情報、画像を反映している。また、火の見やぐらについては、必要性や安全性に欠けるものは、区、地元分団と話し合い撤去していきたい。避難場所の看板表示は本年度104ヶ所、次年度93ヶ所設置の予定である。

問 災害時の情報伝達(指揮・命令)について伺う。

総務部長 消防団の指揮命令系統については、災害が発生した場合、国・県・松本消防局または、市の各部署からの要請に基づき消防団長へ要請す

ることになっている。災害現場では、団長が指揮をとる。団長、副団長が不在の場合は、各分団長、部長、班長の順にする。こととする。これらについては消防団統一事項として取り組んでいる。指揮者の役割は全体の状況把握することにより、安全に活動できる環境をつくるのが重要であり、災害現場における指揮命令系統は縦一本であるべきだ。

問 介護保険が改定となり4月から施行となる。介護保険料も値上げの方向だ。大幅な値上げにならないように段階区分8段階を12段階に細分化し、県の財政安定化基金、市の介護給付費準備基金を取り崩すなど努力をしていただいた。しかし基準月額が4390円から5170円となる。高齢者にとつて5000円以上の負担は限界だ。この保険料の値上げ、制度改定の内容をどうみるか伺う。

市長 保険のサービスの需要が高まってくる。これにより保険料も上げざるを得ない。介護保険制度という地域コミュニティの醸成、人材育成、協働のまちづくりが重要だ。今後は、認知症に対する支援、在宅医療の充実など、息の長い取り組みが必要だ。

問 年金が減らされる一方で、後期高齢者医療制度の保険料も4月から値

上げになる。医療費の窓口負担、介護保険の利用料といった出費も重なる。燃料費の高騰もある。こうした高齢者の暮らしの実態をご存知か。

市長 生活保護世帯が年々増えていて、大変厳しい実態がある。具体的には承知している。具体的な話は数件の皆さんから直接伺っている。

問 保険料減免のため、一般会計からの繰り入れは考えていないか。



地域活動をする消防団員



日本共産党安曇野市議団 猪狩 久美子

介護保険制度改定について

問 自治体の個々の実態を考慮し、財政負担が過重とならないよう適切な措置を講じてほしい、という内容だ。

問 地域包括支援センターの委託を検討しているというが、なぜ委託をするのか。

健康福祉部長 南部地域包括支援センターを社協に委託しているが概ね良好、民間委託による弊害はまずないと認識している。

問 これから高齢者が増えていく。虐待など困難事例にはなかなか踏み込めない。核になるところは、市の直営でやっていた方がいいか。

健康福祉部長 委託になった場合、市が指導、調整していく。

問 介護予防・日常生活支援総合事業の今後の導入はあるのか。

健康福祉部長 第5期の期間中に導入できれば、と考えている。

松本山雅FCへの支援策は



しん風会 高橋 浄

問 松本山雅FCがJ2に昇格した。市長は広域的な取り組みの中で応分の付き合いをする必要があると支援に前向きな姿勢を示し、また出資についても要望に応える旨の発言をしている。市として今後どのような支援策を講じていくのか。

市長 株式会社山雅からは出資の支援願いを受けている。山雅の発展は、市全体のスポーツ振興のみならず、地域の活性化にも繋がるものと期待しているところだ。市民の皆様や議会の理解を得ながら、出資を前向きに考えたい。

問 試合観戦のために訪れるサポーターをどうやって安曇野に引き止めるかが最大のポイントだ。すでに試合の全国放映も行われており、マスメディアを活用して機会を逃さず誘客活動をすべきだと考える。官民一体となった誘客活動をどのように実施していくのか。

商工観光部長 JFLからJ2に昇格した他チームとの経済波及効果の比較においては、トップクラスの波及効果が見込まれるとの試算結果が出ており、山雅の活動が特に中信地域の経済に大きな影響を与えることが期待されている。本年四月から観光協会を法人化、旅行業資格の取得に踏み切るなど、滞在型商品づくりのターゲットとしても大きなチャンスであると捉えている。

農林部長 市、JA等の農業関係団体、及び生産者で構成される農業再生協議会においても、アルウィンに安曇野産の農産物を使用した加工品などの販売ブースを出店することで、安曇野市の農産物のPRを促進することとしたところだ。

問 「子供たちに夢を」をスローガンに、山雅は



松本山雅のサポーター

学校などを中心とする巡回指導や、家族参加型のイベント開催など、市民に身近な活動を積極的にを行っている。サッカーというスポーツを通しての青少年育成の観点から、山雅に何を期待するのか。

教育長 夢や希望、感動を与えてくれる山雅本来のスポーツ活動や、それらを通じて行われる地域貢献活動に対して、青少年の健全育成という観点から大いに期待している。スポーツを通して健やかに、調和の取れた体・心の成長は子供にとって大切なものであり、今後も積極的なご支援を賜りたい。

市長公約と政治姿勢について伺う



無所属連合 萩原 勝 昭

問 本庁舎建設について、市長は既存施設を活用して必要最小限の規模とすると公約しており、私ども(議員有志7人と市民連絡会)が1年前に行ったアンケート結果で、既存施設を使うだけで良いと既存施設に足りない部分を建て増しすれば良いとする意見が86.8%寄せられた。そうした民意を市長は否定する根拠を持っていない。当初予算で市税が5億5千万円減収という財政状況からすれば、市長は既存施設を活用して建設費の節約を検討すべきではないか。

市長 公約に基づいて検討を進め建設に向けて取り組んでいる。アンケートについては皆様方が議員活動の一環として3万部配られたアンケートの8241人の集約結果がそういう結果であったというところであり、なら行政に対して私は問題が

ないと考ええる。今までの説明会等で理解が得られたと、とらえている。

問 市長公約である元気な産業、安定雇用のまちづくりのなかで、市として取り組める産業に観光業と農業が有る。観光振興ビジョンを策定することによって理念が問題になっているが、市長はこうやりたいという方向付けをすべきではないか。

市長 安曇野の豊かな自然というイメージに、豊かな食、良質な温泉の活用、有明温泉郷を活用したいやし、健康づくりを付加して、あらゆる素材を見直し掘り起こす中から有機的に積み合わせる取り組みが必要になる。

問 一歩踏み出して、観光客を誘致するような観光旅行の商品化を全国発信して、自主財源を確保

することになっている。災害現場では、団長が指揮をとる。団長、副団長が不在の場合は、各分団長、部長、班長の順にする。こととする。これらについては消防団統一事項として取り組んでいる。指揮者の役割は全体の状況把握することにより、安全に活動できる環境をつくるのが重要であり、災害現場における指揮命令系統は縦一本であるべきだ。

安曇野市の人口を早く10万人にする施策について



信進クラブ 宮下 明博

問 人口の数値目標を達成する意気込みがあるのか、また10万人を超すための具体的な施策の方向性が出されたのか。

市長 10万人に達することを願っており、それに向けて取り組みを進めていく施策として企業誘致を進め、住宅造成の要件等もできる限り緩和策を図り、新たな家屋の建設等も含め、人口増加対策に積極的に取り組んでいきたい。

問 日本全体の人口が減っていくのは明らかであり、増加させるには、地域間の競争である。県外あるいは他町村から安曇野市に、住んでいただく所を提供しなければ、人口は増えない。具体策として豊科市街化区域内の道路については市の責任で整備し、民間と協力して住宅化を進めるべきだと思ふはどうか。

市長 市街化区域内の未舗装道路については関係地権者等の了解を得て調整を図りながら、生活道路整備事業として進めていきたい。民間のノウハウは積極的に活用し、民の力を最大限生かすことが必要だと思ふ。意見交換しながら前向きに取り組みたい。

問 穂高駅西區画整備事業はなるべく農作物を作っていたらいいという認識なのか、どちらか。

農林部長 地目は農地であるが、早期に住宅化されて良い土地だと認識している。

問 農林部、都市建設部、協力して住宅化を進めるべき。とりあえず今の2点、豊科、穂高の拠点市街区域の対応で、上下水道の使用料、固定資産税等、自主財源の増加ができれば、200人ぐらいの人口は増やせると思う。次に人口増加策のソフト面の質問で、結婚相談事業

について、23年度は1組の成立ということだが、この事業は予算を増加するなり、ボランティアの力を借りるなり、子供を増やすためになんとしても成果をあげなければいけない事業だと思ふがどうか。

健康福祉部長 結婚相談事業をアピールする中で、結婚の仲介をするようなボランティア的活動をしてくれる方たちが出てくればありがたい。

問 子育て支援をより充実させることが若者に安曇野市に家を建てていただく重要な要素になるので、子育て支援策をより充実させしつかりアピールをして頂きたい。

健康福祉部長 安曇野市次世代育成支援行動計画に基づき、関係部局と連携、実施し、今後子育て支援事業の核となるもの、そのPR方法等を含め、計画策定委員会や推進会議等で検討し進めたい。



満蒙開拓を想起させる日輪舎の保存活用と、ホームページの改善・充実について

無所属連合 山地 重雄

問 堀金の倉田地籍に日輪舎がある。昭和20年完成で、教育者加藤完治らが主導した「満蒙開拓青少年義勇軍」の内地訓練所、茨城県内原にあった日輪兵舎を模した建物である。全国でも数少ない建物である。南安曇農業高等学校第二農場内施設で、県の所有であるが、市はこの保存活用に関与してゆくか。

教育長 市は直接関与しないが、必要あらば適切な助言や指導を行う。

問 第二次大戦当時、14、15歳の農村少年を、国策として満州へ送り込んだ義勇軍政策は、大変悲惨な推移と結末を迎えた。世界史にも稀な児童受難であり当時の信濃教育会も大きく関与している。

問 現在安曇野市に関心を持つ市外の方の多くは、ホームページから情報を仕入れることが多い。電子媒体によって知識・知見を吸収する時代

待と思う。市長の認識は。市長 軍国教育の中の恐ろしい一環と考える。この建物の裏にある多くの少年たちのことを学ぶ必要がある。先頃南農創立90周年事業として資金を募り、改築も成された。県教委と連携を取って、しっかりと保存してゆきたいと考えている。

問 市のホームページを見ると、文化財として日輪舎の記事はあるがその先の「物語」がない。これは礫山館なども同様で、ためにホームページが重層的でない。皮相を伝えるだけでなく、更に工夫が必要と考える。

総務部長 リンク先をどう構築するかであるが、早速対応したい。

問 現在安曇野市に関心を持つ市外の方の多くは、ホームページから情報を仕入れることが多い。電子媒体によって知識・知見を吸収する時代



日輪兵舎を模した日輪舎(堀金)

である。一層の改善と充実が喫緊ではないか。

総務部長 この地の文化、歴史を知り、新たな安曇野市を作ってゆくツールとして、ホームページの重要性は認識している。市の情報化計画のなかで更に充実させてゆく。また市民の知りたい情報と、現在のホームページの情報との間に温度差が少しあると感じてもいる。更新作業の権限と作業において、職員の意識及び判断の目が整ってこそ威力が発揮できると考えている。更なる職員研修を行って、より充実に向けて推進して行く。



災害時の行政サービス維持・継続のための備えは

公明党 松森 幸一

問 昨年6月定例会で提案した①災害によるシステム障害の復旧に備えて、「住民データ」のバックアップのため外部データセンター等の活用、②阪神・淡路大震災の際に、西宮市が開発した被災者支援を一元的に管理できる「被災者支援システム」の導入・活用の、その後

の取り組み状況は。また、③災害時のホームページ代理掲載等、友好都市との間で「災害時の情報発信に関する応援協定」の締結を、④行政としての業務継続計画(BCP)の策定を、⑤災害情報伝達のため携帯エリアメールの活用を、提案する。

企画財政部長 ①住民データのバックアップについては、個人情報や情報セキュリティの適切な管理の認証を取得している事業者が運営するデータセンターにデータを保管するシステムを、24年度

中に稼働する準備を進めている。

総務部長 ②地方自治情報センターが公開する被災者支援システムを昨年10月に導入、住民情報を挿入すれば実施可能な状態。被災者台帳、罹災証明、義援金、避難所、緊急物資、仮設住宅等の情報を入れることができ、24年度中に防災計画に明確に位置づけて運用していくよう情報政策課と危機管理室で調整をしている。

③災害時相互応援協定の締結している複数の市町村と、今後、災害時のホームページ代理掲載を含め情報発信手段の確保についての協議をしていきたい。

④災害が発生しても、教育、福祉などの行政サービスは継続しなければならぬ。24年度における地域防災計画の運用修正にあわせて検討したい。

⑤エリアメールは、市民への災害情報

伝達の有効手段の1つ。通信3社と協議をして導入準備を進めている。

要援護者避難支援について

問 ①要援護者台帳の整備にあたり、支所等の窓口申請書を置き市民自らが登録申請できる「要援護者登録制度」が必要と考えるが、②災害時に要援護者登録の申請は重要とされており、担当課や総合支所での申請が今後できるようにしたい。

③災害時は、個人情報の外部提供制限の例外となり、要援護者台帳は区や自主防災組織に公開する。



「災害情報」伝達手段の整備を！移動系防災無線押野山基地局(同報系中継局)



指定管理者制度が安曇野市では有効活用されているか

平松 尾 宏

問 指定管理者制度は国では9年前から、市では6年前から取り入れているが、様々な課題が出ている。この制度の総合的観点から、現状と今後の考えを伺う。

市長 本市では88施設で制度を導入しており、メリットがある程度生かされている。制度運用上の課題や問題点もあるが、公の施設の目的をより効果的に運用するため、施設ごとの今後のあり方を再検討しながら効果的運用を求めていく。

問 公の施設の管理を直営か指定管理者制度によるかの選択基準は。

総務部長 指定管理者制度のメリットが発揮できるかを判断し選択する。

問 市は合併で、多くの公の施設を持った。その整理の内容と期限は。

総務部長 現在1000棟以上の施設は機能や目

的が重複していたり、老朽化しているものもある。本当に必要な施設を市が保有し管理をしていく。将来的にはコミュニティ施設の地域への移譲も検討。そして施設目的の達成の為、徹底した制度運用を目指す。24年度頃には決定。

問 指定管理者の公募、非公募はどのように対処したか。

総務部長 原則は公募であるが、所管部局において判断する。穂高プール、三郷やすらぎ空間は公募した。

問 公募の場合の応募団体数はどのくらいあるか。

総務部長 応募団体が少ないのが実状。

問 民間運営となった、トマト栽培施設の状況は。

農林部長 4月に報告がもらえ、詳細がわかる。

問 公の施設の目的に沿った市民サービスが、管理委託していた時に比べ、落ちない形での指定

管理者制度の運用をすることに對する考えは。

総務部長 監督すべき施設の所管課がしっかりと指導していく。

平和宣言について

問 宣言とはマニフェストであり、実行できるものでなくてはならない。非核・不戦は、謳っても理想で終わってしまう。この平和宣言は、次世代を担う若者の地域平和づくりの為にある。宣言作成に携わってくれた、若い人について伺う。

総務部長 小中高合わせて125件であった。

問 地域平和について、学校での扱いは。

教育長 計画的に、いじめ不登校など「許さない」意識を醸成していく指導を行っている。

【要望】 非核、非核の文言を入れない原案による制定を今年の平和の集いまでお願いしたい。

安曇野市の地方債は どう評価されているか



平丸 山 祐 之

問 市の歳出は一般財源（地方税や地方交付税など）と特定財源（国庫支出金など）で賄うのが原則であり、地方債を財源とすることは例外的である。地方債の持つ機能のプラス面とマイナス面は何か。

企画財政部長 メリットは①現在と後年度の負担調整や経常的な行政サービスを維持しながら建設事業が実施できる。②交付税措置のある地方債を活用すれば、市民負担が軽減され、効率的になる。デメリットは、財政規模を無視した借り過ぎである。健全化判断比率などにより、借り過ぎの危険性はすぐわかるようになってきている。

問 借り入れ先の状況はどのようなものになっているか。

企画財政部長 普通会計で、公的資金（財政融資基金や地方公共団体金融機構資金等）が65・9%、

また民間等資金（市中銀行等）は33・2%である。借入れ利率や割合の状況はどのようなものか。

企画財政部長 利率1・5%以下の割合が63・1%で、1・5超〜3以下が34・1である。尚5・0超の利率のものは平成23年度末にすべてなくなる。県下他市比較はどうか。

問 国債の格付けが国の内外で議論を呼んでいる。地方債にも大きな自治体に対して格付けがされている。当市の地方債は貸し手からどう評価されているか。財政当局はどんなデータや情報を収集して判断しているのか。

企画財政部長 貸し手は市が毎年公表している財政指標などをもとに、何らかの評価をしていると考える。全国の市町村を、人口や産業構造などにより35の類似団体に分け、財政力指数や経常収支比率、将来負担比率などを各指標の平均値や順位をつけ、毎年公表しているが、安曇野市はおおむね平均以上である。

問 市は直近起債計画だと平成25〜26年度あたりが起債額ピークになる。今後の対処方針や地方債市場の展望はどうか。国は金融市場の国際化や地域主権改革を見据えて、民間資金でも特に市場公募債拡大を目指している。市の現在の起債状況はこれと逆行しているようだがどのような状況なのか。

企画財政部長 合併特例債は公的資金と民間資金の割合が33・2%である。借入れ利率や割合の状況はどうか。

問 借入れ利率や割合の状況はどうか。

企画財政部長 利率1・5%以下の割合が63・1%で、1・5超〜3以下が34・1である。尚5・0超の利率のものは平成23年度末にすべてなくなる。県下他市比較はどうか。

新年度の基金の取り扱い方と 今後の財政見通しは



無所属連合 吉 田 満 男

問 新年度予算は370億5000万円増（対前年比4・3%増）の大型予算となっている。新本庁舎の建設資金としての基金の取り扱い方と実施計画に基づいての財政見通しについて。国難な社会情勢、当市においても生活保護世帯が増加しているなどを踏まえ市としての考えは。

市長 今回の予算編成については極力、補正予算を組むべきではないという立場である。前年度の決算状況を見て、出来る限りのものを当初予算に組ませた。今後、大型補正を組めるような状況はないと思う。今回は特に計画に基づいて庁舎建設費用等がかさんだ事もある。財政見通しについては、後年度負担を出来る限り無くして、国の制度、補助金等を十二分に活用しながら健全財政の堅持を保つていく。前例にとられることなく、新たな発想の中で政策の見直しも指示している。国の財政も厳しいことは十二分に承知はしている。特に合併特例債は合併を促進した国の責任において堅持をされるものと考えているので、当市の財政は一定の水準で推移をしていく。更に、今あるハード事業が一段落すれば、それ以降はそう多く建設関係にかけなくて安定した財政運営が出来るのではないかと見通している。

問 財政的には大変厳しい中、心配はないとしているが、現在ガソリン等が値上がりしつつあり、東日本の復旧、復興の為、建設資材、労務費などの値上がりも既に起こりつつあるので、私自身の見通しとしては、財政的に大変厳しく、心配である。



アルウィンでの競技風景

【その他の質問事項】
○松本山雅FCへの出資を早期に
○新中学生の必修科目の扱い方について

安曇野市総合計画・実施計画の 進捗状況について



公明党 小 松 芳 樹

問 実施計画によると、三郷西部・東部保育園が平成27年までの計画に記載されていない。特例債の期限も迫ることから建設の時期と是非を伺う。

市長 合併特例債の期限が5年延長されることを期待するが、もし現状のままであっても、施設整備事業債や社会福祉施設整備事業債などを活用しながら、自主財源も投入し順次進める。

問 三郷総合支所等整備検討市民会議では、総合支所のあと利用として、1階に図書館・2階に学習室、多目的室等と新聞報道されているが、三郷交流学習センターの計画はどうなったのか。

教育長 現存している児童館に隣接した土地に、交流学習センターを建設する予定であったが、100台ほどの駐車スペースが必要となると、土地の確保が難しくなった。



平成20年に建設された三郷児童館

健康福祉部長 チラシや節目検診受診者には郵送、成人式を迎えた女性には子宮がん検診のチラシを渡すなどして、受診率向上に務めている。

問 前立腺がんの検診に公費助成できないか。

健康福祉部長 一部の自治体では行なっているが現在のところ考えていない。今後国の方向性を見極めながらとなる。

問 脳脊髄液減少症はまだまだあまり知られてお

安曇野菜園住民訴訟 訴訟費用の住民負担について



無所属連合 小 林 純 子

問 住民訴訟で敗訴した原告住民側に訴訟費用を請求する例は非常にまれだが、市が請求するに至った理由は。

市長 最高裁判決に訴訟の総費用は原告の負担とすると明示されている。市が訴えを受けてから最高裁判決が下るまでに要した弁護士報酬等の費用は721万円余。この原資は市民の税金であること

を考え、そのうちの訴訟費用については、判決に基づき請求することにした。

問 住民側も市と同等の負担を覚悟して訴訟に臨んだもので、個人の利益を求めた裁判ではない。この住民訴訟の基本的な意義を理解しているか。

市長 それぞれの自治体の判断によるものであり、請求をする権利が自治体としてはあると思う。

問 今後続く住民訴訟について、同様に訴訟費用を請求する考えか。

市長 今後もこういった事例があれば、法の判断に基づいて請求する。

【要望】 今回の訴訟費用請求については、これが悪しき前例とならないよう、住民訴訟の意義を認識し熟考したうえで対応を望む。

豊科文化財団の公益法人化と財団の基本財産の確定について

問 公益法人移行が認可された豊科文化財団について、市の文化振興計画に盛り込まれたことを具体的にどう進めていくのか。

教育次長 認定を受けた後の法人の名称は「公益財団法人安曇野文化財団」となり、基本財産は財団法人豊科文化財団の基本財産をそのまま引き継ぐ。文化芸術の創造、育成を図り、振興発展に寄与する事業を公益目的事業に位置づけ、引き続き、市の施設の指

定管理や文化芸術振興のための自主事業を行うことになる。

問 財団の基本財産（村田コレクション）について、「庶民の家具展」開催をきっかけに、その管理活用が適正に行われてきたか疑いが生じている。安曇野文化財団となるのを機に、問題となっていた基本財産を再評価し確定をして、今後の財団活動に活用するよう市が後押しすべきではないか。

教育長 財団としては「しかるべき専門家を交えた鑑定の場合に村田さんにも立ち会いをお願いし、今後の活用に向けた協議の場が持たれば行っていきたい」との考えであると聞いている。



安曇野市三郷トマト栽培施設
「安曇野みさと菜園」
開業当初のパンフレット表紙



市長の政治姿勢 消費税増税・TPP参加交渉

日本共産党安曇野市議団 下里 喜代一

問 所得の少ない人に重税となる不公平税制が消費税。1989年竹下内閣で導入、97年橋本内閣のとき5%アップで日本経済の内需は縮小した。「増税で家計は火の車」「商品に税を転嫁できない」という声があるが、増税すべきは富裕層、大企業という税制改革が必要なのでは。市長は消費税増税をどう考えるのか。

市長 政府の説明は不足しており、納得できるものではない。現段階での消費税増税は慎重にならざるを得ない。地域で支え合い、我慢すること、痛みを伴うことなので、税と社会保障一体の改革は必要と考える。

問 TPPに日本が参加したら、当市の米90%生産減と試算されている。米韓FTAのように秘密交渉では困る。アメリカやオーストラリアと事前交渉をしていると批判がある。当市の農業、地域経済をダメにするTPPに異議はないか。

市長 農業だけでなく商工業もあり、条件など議論されている。自由貿易によって自動車関連はいいが、慎重にすすめること、社会的資本を守ること、情報の提供が必要だ。TPPが発動され、関税が撤廃されたら、米、畜産等に大きな影響が及ぶだろう。

問 予防・検診の奨励、大勢の人が健康づくりを位置づけられるように実質的に医療費のかららない市とするべきではないか。

市民環境部長 手遅れにならないよう、胃検診の補助も出しており、検診の推奨を行いたい。
問 診療抑制につながっている国民健康保険の短期保険証、資格証明書の発行をやめ、すべての被保険者に保険証の発行をするようにしてはどうか。



健康づくりに廃線敷ウォーク

市民環境部長 年2回、県内19市の国保事務研究協議会で意見交換している。国庫負担割合引き上げ、負担軽減策など要望している。

問 国の負担割合を増やし、税額を抑える、減額・減免措置をすることが必要ではないか。

市長 市の農業・農村振興基本計画はコンサルタントに依存せず、農業関係者はじめ市民の皆さんで策定した。今後この計画の理念に基づき具体的な実現を図っていく。実施主体の責務や検証、推進体制などを条例として整備することも大切で、さらに検討していく。



安曇野市農業振興条例と 農業振興計画について

しん風・常念会 山田 高久

問 農業振興条例制定の今後の取り組みについて（安曇野市商工振興条例があるのに、田園産業都市をスローガンにするのが市に、農業振興条例が無いのはなぜか）

市長 市の農業・農村振興基本計画はコンサルタントに依存せず、農業関係者はじめ市民の皆さんで策定した。今後この計画の理念に基づき具体的な実現を図っていく。実施主体の責務や検証、推進体制などを条例として整備することも大切で、さらに検討していく。

農林部長 条例について今後、研究・検討していくが、24年度早々には振興計画に沿ったアクションプランを策定する。

問 安曇野の水田を守る米の消費の拡大策について考えるか。

市長 安曇野のブランドを生かし、地域外への販売を増やしたい。地域内では米粉を使った食材等の研究を促し、消費拡大を図る。

教育長 学校給食日数米飯72・5%で県下の平均より高い方である。

問 第1次市総合計画実施計画（27年度まで）におけるスポーツ施設建設・振興に対する執行の本気度を聞きたい。①豊科県民運動広場改修工事

市長 押野山多目的運動場②農林総合体育館建設事業、この3事業が23年度より遅れ変更した理由について。

市長 押野山の整備については道路建設の用地交渉に難航している。要望ある事業は財政状況を見極め調整していく。大きな面積が必要であるが農地法の改正により、開発が大変難しい状況だが早期実現に努める。

教育次長 25年度に早めた事業であるが、条件が整えば前倒しして取り組む。

総務部長 用地交渉を円滑に進めるにはねばり強くお互いの信頼を築く、職員の意識改革が必要。

最も大切なのは議会が何をしているかを正確に伝えることである。

一般質問も大事なことは中身であるが、写真レアウトの工夫や字体の変更やイラストの多用なども含めて、これらも一層読みやすく判りやすい広報誌制作に努めたい。

2月9・10の2日間にわたって市議会だよりを「より見やすく読みやすく」するための研修として、千葉県南房総市と、富津市の市議会広報委員会を訪れた。所属議員10名と議会事務局職員1名である。

事前に両市議会宛に様々な質問事項を送付して所見を書いておいて頂いた。

9日の午後には南房総市に到着。当該市は安曇野市同様「武蔵野市交流市町村協議会」に加盟しているもので以前から関係は深い。

参考になったのは議員の一般質問がその後どのように生かされたかを取り上げる「あの一般質問の行方」とか、予算がどのようにに使われたかをビジュアルに取り上げる「みてみて、ここが変わる」などのコーナーである。

10日の富津市市議会においては議場を使った「議場コンサート」などを開催し、いかに市民と議会との距離を近しいものにするか、アイデアを練られていた。ただマンネリ化の課題もあって、継続して続けることは難しいようである。また、12ページと少ない紙面を有効に構成・編集されていた。

「安曇野市議会だより」も今号から3段組に変えた。これも両市議会における取り組みを参考にしている結果であるが、市民の皆様の判断はどうだろうか。

最も大切なのは議会が何をしているかを正確に伝えることである。一般質問も大事なことは中身であるが、写真レアウトの工夫や字体の変更やイラストの多用なども含めて、これらも一層読みやすく判りやすい広報誌制作に努めたい。

南房総市議会にて



南房総市議会にて

議会運営委員会

1月25日～26日
〔福島県会津若松市〕

議会改革の先進地、会津若松市の視察報告

議会改革をテーマとして、議会基本条例制定へのプロセスと、市民とのかわりについて、議会改革の先進地である会津若松市にて行政視察を行った。

会津若松市は、議会基本条例と議員政治倫理条例の2つの条例を制定し、議会改革に取り組んでいる。議会改革に向けて「議会制度検討委員会」が設置され、議長から改革への基本理念や方針、改革への検討事項の優先順位が提案され、平成20年6月定例会の条例案提出を目的として始まった。

議会改革に向けての目標は条例制定ではなく、「市民のために議会として何をするか」というもので、現在も改革は進められている。

議会広報特別委員会

2月9日～10日
〔千葉県南房総市・富津市〕

2月9・10の2日間にわたって市議会だよりを「より見やすく読みやすく」するための研修として、千葉県南房総市と、富津市の市議会広報委員会を訪れた。所属議員10名と議会事務局職員1名である。

事前に両市議会宛に様々な質問事項を送付して所見を書いておいて頂いた。

9日の午後には南房総市に到着。当該市は安曇野市同様「武蔵野市交流市町村協議会」に加盟しているもので以前から関係は深い。

参考になったのは議員の一般質問がその後どのように生かされたかを取り上げる「あの一般質問の行方」とか、予算がどのようにに使われたかをビジュアルに取り上げる「みてみて、ここが変わる」などのコーナーである。

10日の富津市市議会においては議場を使った「議場コンサート」などを開催し、いかに市民と議会との距離を近しいものにするか、アイデアを練られていた。ただマンネリ化の課題もあって、継続して続けることは難しいようである。また、12ページと少ない紙面を有効に構成・編集されていた。

「安曇野市議会だより」も今号から3段組に変えた。これも両市議会における取り組みを参考にしている結果であるが、市民の皆様の判断はどうだろうか。

最も大切なのは議会が何をしているかを正確に伝えることである。一般質問も大事なことは中身であるが、写真レアウトの工夫や字体の変更やイラストの多用なども含めて、これらも一層読みやすく判りやすい広報誌制作に努めたい。

南房総市議会にて

市民の

The Voice



声

春が来た

桜が咲き、鶯も啼いて季節は、春本番となりました。潮沢の山々が萌木色になっていく姿は圧巻です。

現在気になることは、鹿が木の幹や新芽を食べるので、山が荒れて崩れないか心配になります。猟友会のみなさんはこの間6頭撃つたとききました。山間地に住む私たちにとっては、自然保護は当然ですが、鹿や猪、鳥など有害鳥獣の個体数を増やさないようにしてもらいたいものです。

現在憂いていること

尖閣諸島は日本の固有の領土です。竹島も千島列島も。海に囲まれた日本だから中国、韓国、ロシアに

いろいろな言われなくても、きちんとした態度を政府としてとってもらわないと国際的に信頼も信用もされないことになるでしょう。

敦賀原発の周辺には活断層があるって危険がいつぱいと指摘されています。柏崎刈羽原発、浜岡原発の隣県で糸魚川静岡構造線のある安曇野市だからこそ、原発に頼らない太陽光・地熱発電といった自然エネルギーに転換する施策をぜひ押し進めてもらいたいものです。エネルギーの地産地消といったところでしようか。国会議員、地方議員の活躍を期待しています。

これからの安曇野は

安曇野はなんとといってもアルプスの山々、おいしい水を観光に活かすことです。TPPで安い米を



滝沢幸子さん
(明科)

買わされ荒廃した農地ばかりになったら、安曇野の原風景はなくなり、これほどの自然破壊はないでしょう。ここに住む私たちが力を発揮する時です。

私は歴史、民話、山に関心があります。さまざまな活動に参加しています。高齢社会を迎え、生きがいを大切に、頭と体を使う特に学習の場が必要ではないでしょうか。関心や興味があれば積極的に取り組んでみる、そうした環境をつくっていけるようにと考えています。

若い人たちが働く場がないと、人口が流出するばかり。優良企業の誘致をするなど、雇用の確保ができるように知恵と工夫をする。今が正念場。これからの安曇野を創る若い世代に心からのエールを送ります！

編集後記



◆福寿草が咲き、桜の便りが届き始め、入学式の日を迎えた。今年は市内10小学校で、860名の児童が新しく学び舎の扉を開いた。

入学式では、つい半月ほど前に六年生を送った当時の五年生がすっかりたくましさを増し、小学校の顔、六年生になって一年生を迎えた。

一年生を前に両手を差し出し、困ったときはいつでも私達六年生に声をかけて下さいと、暖かい呼びかけの言葉が会場に響いた。感激の一瞬であった。出発(たびだち)の時。この子ども達が笑顔で毎日過ごせるようにと願ってやまない。
平林徳子

◆2011年3月、東日本を襲った災厄を乗り越え「復興の春」を迎えられるように懸命の努力が被災地で続いている。

季節は春爛漫となり、命の息吹が日一日と躍動的に感じられる今日この頃。安曇野の薫風に乗って、市民のくらしが豊かになっていくことを願いたいものである。

一人ひとりの力が実を結び幸せとなる家庭・地域・社会にと一歩前へすすむことができるよう努力を積み重ねたい。
下里喜代一

議会広報特別委員会

- 委員長 吉田 満男
副委員長 相田登美枝
委員 小松洋一郎 畠山 倉光
藤原 陽子 山地 重雄
内川 集雄 下里喜代一
平林 徳子 丸山 祐之

*気軽にご意見をお聞かせください。

平成 24 年安曇野市議会
6 月定例会会期日程 (予定)

6月4日(月)~6月22日(金)頃を予定。
皆様の傍聴をお待ちしています。

安曇野市議会だより 第26号

〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川 2750-1 安曇野市堀金総合支所内

平成 24 年 5 月 16 日発行

TEL 0263-71-2156 FAX 0263-71-2150

http://www.city.azumino.nagano.jp/gikai/index.html
E-mail:gikai@city.azumino.nagano.jp

発行 長野県安曇野市議会
編集 議会広報特別委員会
印刷 有限会社安曇印刷

古紙配合率 100%
再生紙を使用しています。

